

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.40					2.8
1 音環境		3.0	0.15	3.3	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.6	0.50			
1 開口部遮音性能	遮音等級T-2	3.0	0.98	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.02	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.01		-			
2 温熱環境		2.0	0.35	2.4	1.00			2.2
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.62	3.0	0.63			
2 外皮性能		1.0	0.37	3.0	0.38			
3 ゾーン別制御性		1.0	0.01		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		3.1	0.25	2.4	1.00			2.7
3.1 昼光利用		3.5	0.33	1.9	0.50			
1 昼光率	住戸・・・昼光率2.00以上 共用部・・・昼光率1.00以上	4.0	0.57	2.0	0.50			
2 方位別開口			-	1.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.43	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.29	3.0	0.50			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.14	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.24	-	-			
4 空気質環境		3.2	0.25	3.6	1.00			3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		2.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	住戸・・・1/6以上		-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.01		-			
1 CO ₂ の監視		-	-		-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00		-			
Q2 サービス性能			0.30					3.1
1 機能性		3.7	0.40	3.0	1.00			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性			-		-			
2 高度情報通信設備対応			-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観	食堂・・・天井高:3.90m	5.0	0.02	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画	・湘南の風を感じる学生寮をテーマして、杉板型枠仕上、天然石床を採用した。 ・寮室の生活スタイルを考慮し、壁付けの棚、天井にはスチールバーを設置し、機能的に収納可能な計画とした。 ・エレベーターホール、廊下に間接照明を計画した。 ・インテリアバースにて事前検証した。	4.0	0.98	3.0	0.50			
1.3 維持管理		4.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	・防汚性の高い仕上げ(ビニルクロス、塩ビシート) ・水で洗浄可能な材質 ・風除室は手動扉 ・大きく維持管理方法が異なる床材を接近させていない ・廊下側へ勾配を計画し、壁面の汚れ配慮 ・目隠しフェンスに溶融亜鉛メッキの採用 ・動線は段差無しの計画 ・全てのビットにて維持点検を行えるよう、点検口、人通孔を計画。	5.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保	・ゴミ置場に水勾配の計画 ・建物内にゴミ置場、敷地北側にゴミ収集積場の計画 ・共用部にコンセントを設置 ・取り外し、清掃可能な構造としている ・メーターボックスで操作が可能 ・点検口のサイズは600×600 ・共用部(PS)を用いたメンテナンス	4.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SUS(C)、給湯:SUS(C)、排水:VP(B)	4.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			2.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			4.2	0.01	3.0	0.50	
1	階高のゆとり	住戸・・・面積按分レベル:2.88	5.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.01	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.97		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.9	0.20		-	2.9
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.81 住宅(専有部) 1.06	4.0	0.50		-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		効率の優れた機器の導入(空冷ヒートポンプエアコン、LED照明器具)	4.4	0.05		-	
集合住宅の評価(3c)		効率の優れた機器の導入(エコジョーズ)	3.9	0.95		-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	0.05		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			3.0	0.95		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		自動水栓などに加えて節水型便器を使用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュヤーン	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディティールを採用	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いたノンフロン断熱材を採用	5.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		LCGO2排出率:86%	3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		駐輪場の設置、荷捌きスペースの確保	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			3.0	-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	